

NMMC News



独立行政法人 国立病院機構 名古屋医療センター広報誌

No.128
2026年1月号
TAKE FREE

ご自由にお取り下さい



謹
賀
新
年

▲ 巻頭言	新年のご挨拶 名古屋医療センター院長 小寺泰弘	2p
▲ ドクターよもやま話	無痛MRI乳がん検診のお勧め 放射線科医長 大岩幹直	3p
▲ 職場紹介	外来3階／栄養管理室	4p
▲ トピックス	With you NAGOYA 2025 の開催について	5p
▲ 医療最前線	慢性副鼻腔炎について 耳鼻咽喉科医長 寺西正明	6p
▲ 連携医療機関紹介	さぶり整形外科	7p



巻頭言



小寺 泰弘
名古屋医療センター院長

新年のご挨拶

皆様 新年あけましておめでとうございます。
通院中、入院中の患者さんにおかれましては心からお見舞い申し上げますとともに、一日も早いご回復をお祈り申し上げます。

当センターでは名古屋市北部を中心とする広い診療圏から患者さんに御来院いただき、なるべく多くの診療科で様々な疾患に対応させていただけるよう日々御準備申し上げております。特に国が指定するがん診療拠点病院としてがんの診療に力を入れており、手術療法、薬物療法、放射線療法のすべてにスペシャリストをそろえております。また、がん以外の様々な分野においても難治な疾患においては最後の砦としての役割も果たせるよう、職員は不断の努力と研鑽に努めております。

それに加えて当センターでは歴史的に救急医療に力を入れております。名古屋市内では7つの救命救急センターがお互いにある程度の距離において配置されておりますが、当センターが属する名古屋市北部の医療圏は若干広めであり、2025年度の救急搬送数は市内で2番目に多くなっております。救急対応もまた重要な社会的使命と考え、身が引き締まる思いで従事しておりますが、2025年度には腎臓内科チームが再構築されたおかげで緊急透析も可能となり、救急要請への応需率は明らかに向上しております。一方、24時間体制でこのような救急診療を行うには、働き方改革の観点からも夜間に勤務する医療スタッフの勤務体制の調整に相応の配慮が必要です。当センターは名古屋市随一の歓楽街から近いことから深夜に搬送される患者さんの中には医療以外の面で難しいケースもあり、医療者が余分な緊張を強いられることもあります。病院としては医療者を守る観点から患者さんの権利と平行して患者さんの責務もホームページなどに明示しております。責務と言っても多くの患者さんにとっては普通にご協力いただける内容と考えておりますので、何卒ご理解をいただければと思います。

私共はみなさまがお困りの際にお役に立てるよう、診療能力を伸ばすのみではなく待ち時間の短縮などを含むサービス面を向上させるのが重要な課題と認識しており、検討を重ねております。それに加えて何と申しましても建物・設

備も充実させたいところであります。実際のところ、当センターは名古屋城の隣の一等地にそびえる歴史ある病院であると自慢ができたのも今は昔、今や外観はともかくとしても内部を見渡せば、特に病棟の老朽化は深刻な悩みであり、建て替えは私に課せられた使命と考えております。一方、昨今の報道にもありますように病院はどこも苦しい経営状態にあります。加えて、近年の建築費用の高騰もあり、相当の収益増が見込めないと国立病院機構本部から建て替えのお許しをいただくことはできません。しかし、このままでは老朽化がますます進み、患者さんも医療スタッフも当センターに満足いただけないこととなります。そのような観点から機構本部とは頻りに相談をさせていただいております。また、厳しい経営状態ではあっても、公的病院として必要な診療科が設置できないのは大変心苦しいことです。現在医療スタッフの人員不足で休止を余儀なくされている産科については、一刻も早い再開を目指してリクルートを進めております。

当センターは病院機能評価を取得・更新し、国立病院機構の定める臨床評価指標による自己評価も定期的に行っており、医療の質と安全には平素より気を配っております。しかし、向上の余地はまだあると考え、新たに質向上の取り組みを開始しました。病院で医療を行うにあたってはこまごまとした状況に応じて様々な手順がありますが、こうした手順の多くはニーズに応じて自然発生的に作られるものであり、病院で行われているあらゆる診療行為を網羅的にカバーできているとは限りません。診療上の肝腎なことについて実は明確な手順が存在しないなどということも時々あり、これらは日々の診療における効率の悪さ、さらにはインシデントにもつながり得ます。より充実した手順作りとそれを病院全体として遵守する取り組みを新しい手法を用いて進めており、職種間の連携がさらに深まるものと期待しております。こうした地道な努力を当センターのチーム医療におけるさらなる質の向上、さらには経営状態の改善につなげる年にしたいと考えております。

本年も名古屋医療センターを何卒よろしくお願いたします。



ドクター よもやま話



大岩 幹直
放射線科医長

無痛MRI乳がん検診のお勧め

乳がんは日本人女性が罹患するがんの中で最も多く、一生のうちに乳がんと診断される方は9人に1人と非常に高い割合にのぼります(2021年のデータ)。一方で、乳がんによる死亡者数は大腸がん、肺がん、膵臓がんに次いで第4位となっています(2023年)。乳がんの5年生存率は92.3%(2009～2011年)と高く、早期に発見し適切な治療を受けることで命を守りやすいがんであることが分かっています。

乳がんで亡くなる方を減らすためには、何よりも早期発見が重要です。しかし、日本における乳がん検診の受診率は2022年時点で47.4%と低い状況が続いています。現在主流のマンモグラフィ検診は、乳がん死亡率を減少させる効果が統計的に証明された優れた方法ですが、乳腺が発達した若い方、いわゆる「高濃度乳房」の場合には病変が見つかりにくいという課題があります。これはマンモグラフィがX線を用いる検査であるため、乳腺の割合が高い乳房では乳がんが乳腺に隠れてしまうからです。日本人女性は欧米人に比べ乳腺の割合が高い傾向があり、この点は大きな問題となっています。

こうした課題に対応するため、これまでにデジタルトモシンセシス、超音波検査、造影マン

モグラフィ、MRIなどの方法が提案されてきました。当院ではマンモグラフィ単独の検診に加え、2024年から新たにMRIを用いた乳がん検診を導入いたしました。

このMRI検診は、乳がんの発見率が高く、マンモグラフィが苦手とする高濃度乳房でも有効です。さらに造影剤を使用しないため、アレルギーの心配もありません。加えて、マンモグラフィと比べて以下のような特徴があります。

- 乳房を圧迫する必要がないため痛みがありません
- 検査用の衣類を着たまま受けられます
- 放射線被ばくがありません

「マンモグラフィは痛いから受けたくない」「放射線が心配で検診をためらっている」という方には、特に安心して受けていただける検診方法です。

乳がんは早期に見つけることで治療の選択肢が広がり、予後も大きく改善します。ぜひこの機会に、無痛MRI乳がん検診をご検討ください。皆さまの健康を守るために、当院はこれからも安全で質の高い検診を提供してまいります。

無痛MRI乳がん検診予約受付中

ご予約はドゥイブス・サーチ社HPから行っていただけます
右側のQRコードから予約サイトへアクセスできます

名古屋医療センター予約ページ

<https://dwibssearch.miraino.com/bookings/?clinicId=208>



検査のお問い合わせは

名古屋医療センター放射線科まで

052-951-1111(代表)

放射線科MRI室宛てドゥイブス・サーチ

お問い合わせとお伝えください

(平日9時から16時まで 年末年始を除く)

| 注意点 |

- 体内に金属がある方は検査を受けられません。
- 入れ墨、アートメイクのある方は検査を受けられません。
- 特殊な検査寝台を使用するため装置の内部スペースは25cm程です。狭いところが苦手、検査を受けられるか心配な方はお問い合わせください。

外来3階

外来3階には、**血液内科、小児科、耳鼻咽喉科、産婦人科、眼科、皮膚科、泌尿器科、歯科口腔外科**の8つの専門外来があります。

各科がそれぞれの専門性を最大限に発揮し、質の高い医療の提供を目指し日々精進しています。また、眼科・耳鼻科・泌尿器科・皮膚科では、日帰り外来手術を行っており、患者様のニーズに応じた柔軟な医療を提供できるよう取り組んでいます。

入院治療が必要になった際や、退院後の診察の際には、患者様の状況がスムーズに引き継がれ、継続した看護が行えるように病棟とも迅速かつ密接に連携しています。

私たちは、患者様の安心と安全を最優先に考え、日々の看護に努めております。受診される皆様、スムーズに、そして心穏やかに診療を受けられるよう、温かいサポートと細やかな配慮を目指して、医師やコメディカル・事務など他部門との連携を強化して頑張っています。



栄養管理室

副栄養管理室長 **飛野 矢**

栄養管理室は管理栄養士10名、調理師6名、事務員1名のスタッフで協力し安心・安全な食事の提供に努めています。主な業務としては、入院患者の栄養管理、外来・入院の栄養食事指導のほか、栄養サポートチームや褥瘡、緩和ケア、認知症ケアなどの多職種チーム医療へ参加しています。入院患者の栄養管理については病棟担当栄養士によるサポート体制を構築し、患者個々に応じた食事対応や適切な栄養管理が提供できるよう努めています。

当院の病院食は、入院生活を少しでも豊かに過ごせるよう、正月、クリスマス、ひな祭りなどの行事食の提供、特別室へのティーサービスや特別メニュー食、小児科病棟へのお誕生日食等の提供を行っています。また今年にはコロナ以前に実施していた糖尿病集団指導教室も再開しました。

今後も食を通じてみなさまの治療に貢献できるようスタッフ一同協力して頑張っていきます。



With you NAGOYA 2025 の開催について

令和7年11月30日(日)、近隣の医療機関と協力し、乳がん患者とその家族の生活の質(QOL)の向上を目的とした「With you NAGOYA 2025 新しい私を見つける～今日の一步が明日の光に～」を開催しました。本会は、患者・家族をはじめ、各科の医師、看護師、技師、薬剤師など乳腺疾患に携わる医療従事者や多職種の関係者が参加し、ともに考え、理想的なケアの実現を目指す取り組みです。当日は、患者・家族、医療従事者を合わせて200名を超える方々にご参加いただきました。



本会は二部構成で行われ、第一部の講演会では、乳がん治療、リンパ浮腫、医療サービス、緩和ケアをテーマに、計4名の講師による講演が行われました。講演中には要点を書き留める参加者の姿が多く見られ、講演後には患者・家族、から質問が寄せられるなど、関心の高さがうかがえました。専門的な内容についても、具体例を交えた分かりやすい説明がなされ、参加者が今後の治療や生活を考えるきっかけとなる講演会となりました。

第二部では、15名程度の少人数に分かれて分科会を開催しました。今年度は、ホルモン治療、再発・転移への不安、AYA世代との向き合い方など、計9つのテーマについて13グループに分かれて意見交換を行いました。患者と医療従事者が立場を越えてざっくばらんに語り合い、それぞれに新たな気づきや学びを得る貴重な機会となりました。

また、会場内では、多遺伝子検査やブレストウェアネスに関する情報提供のほか、人工乳房や外見ケア用品など、治療後の生活を支える各種アイテムの展示・体験を行う企業にも出展いただきました。参加者が実際に手に取って試しながら相談する姿が多く見られ、治療中・治療後の生活を具体的にイメージする機会となっていました。

来年度は日赤病院の主催で「With you NAGOYA2026」の開催を予定しています。乳がん患者の方やご家族でご興味のある方は、ぜひご参加ください。



医療最前線



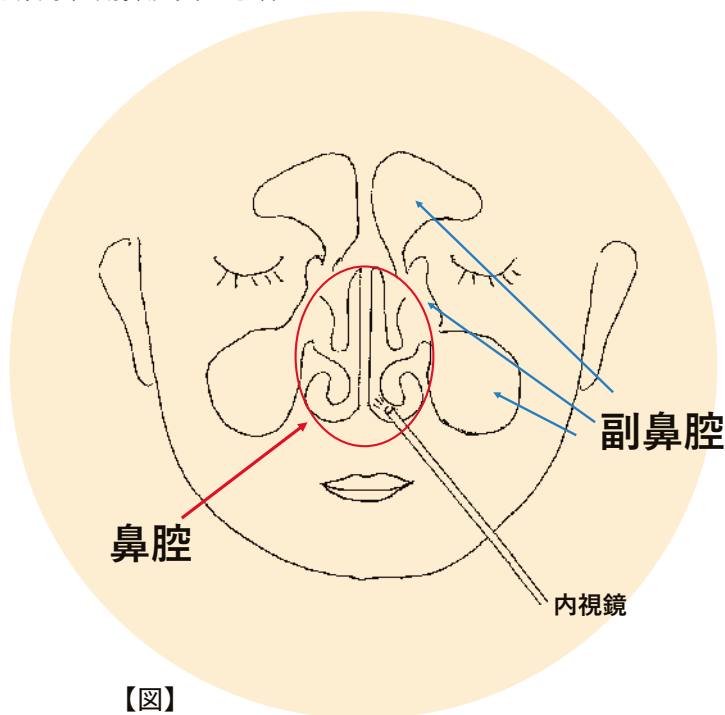
寺西 正明

耳鼻咽喉科医長

慢性副鼻腔炎について

副鼻腔は鼻のまわりにある空間で、鼻の中の詳細な観察や処置には内視鏡を用います（図参照）。慢性副鼻腔炎は副鼻腔に長期にわたる炎症が持続する疾患ですが、一般的には蓄膿症とも呼ばれます。鼻づまり、黄色い鼻水、鼻水がのどに流れる感じ、嗅覚障害、顔面の重さなどが主な症状で、日常生活の質を大きく低下させることがあります。鼻のなかには膿汁とともに鼻茸（はなたけ）とよばれる鼻ポリープがあることが多いです。近年の医学の進歩により、治療は大きく変わってきています。細菌感染が主な原因となる従来型の副鼻腔炎に加え、近年慢性副鼻腔炎の中には、一般的な治療だけでは症状が改善しにくいタイプがあり、好酸球性副鼻腔炎です。これは、体の免疫に関わる「好酸球」という白血球が過剰に集まり、鼻や副鼻腔に強い炎症を起こす病気です。この病気は鼻茸（はなたけ）ができやすく手術をしても再発しやすいです。鼻茸は増えると鼻づまりが強くなり、においが分からなくなる嗅覚障害が起こります。また、好酸球性副鼻腔炎の患者さん

では、気管支喘息を合併することが多いことも分かっています。治療では、まず炎症を抑えることが重要で、ステロイド点鼻薬は毎日の基本治療であり、症状が強い場合には短期間の内服ステロイドを使用することもあります。それでも改善が不十分な場合には、内視鏡下副鼻腔手術が検討されます。手術によって副鼻腔の通り道を広げ、薬が奥まで届きやすい環境を整えることが目的です。術後の治療継続も非常に重要です。近年はさらに、生物学的製剤という新しい治療法が登場しました。好酸球性炎症を引き起こす原因となる特定の分子（IL-4、IL-5、IL-13など）を標的とする治療で、重症例で手術の再発例において鼻茸の縮小や嗅覚の改善が期待できます。好酸球性副鼻腔炎は「治らない病気」ではなく、正しく理解し、長く付き合いながらコントロールしていく病気です。症状に悩んでいる方は、耳鼻咽喉科医に相談し、ご自身に合った治療を選択していくことが大切です。



【図】



さぶり整形外科



院長
岩田 淳

こんにちは、医療法人さぶり整形外科院長の岩田 淳（いわたあつし）です。

名古屋医療センターには日頃は病診連携、地域医療連携セミナー、医師会活動などを通じ大変お世話になっております。まずは御礼を申し上げます。

さぶり整形外科は1986年に名古屋市西区に開設された整形外科の診療所です。西区域西は名前のごとく名古屋城の西側にあり、落ち着いた雰囲気エリアです。診療所からも名古屋城を見ることができます。「さぶり」というのは開設者である義父の佐分秀雄の名字です。お陰様でこの診療所は地域に根ざし、市民の皆様のご支持を頂く整形外科として成長し、継続をさせていただきました。平成23年9月より、私、岩田淳がこの診療所を継承させていただいております。

さて、高齢者社会の中で、骨・関節疾患はますます増加しています。その一方、人生や生活を楽しむという夢や希望を持つ患者さんも多くなりました。当院では、骨や関節の慢性疾患、また歩行能力の低下したロコモティブ・シンドローム、筋肉量が減少したサルコペニアなどに対して、保存的治療・リハビリテーションを中心に取り組んでいます。とくに患者さん自身が積極的に治療に参加する運動療法に力を入れています。また骨折や脱臼などの外傷については、速やかな診断と初期対応、最善の治療を受けることを第一に考えております。

この医療レベルを維持していくためにも名古屋医療センターとの医療連携は重要です。名古屋医療センターには整形外科をはじめ、救急科など多くの科にお世話になっております。とく



に名古屋医療センター整形外科が歴史的に専門とされてこられた人工関節手術をはじめ、関節リウマチ疾患の治療では患者さんを送らせていただく機会が多くあります。そして増加の一步をたどる大腿骨近位部骨折をはじめ救急の外傷疾患については毎日の大変お忙しい中で患者さんを受け入れて下さり非常に感謝しております。

また整形外科周辺領域には境界となる疾患も多く、膠原病内科リウマチ科、脳神経外科、脳神経内科、皮膚科など多くの科の先生方にご指導を頂いているのも現状です。

地域医療に貢献をしていくためにも、当院は精一杯の対応と努力をさせて頂く所存ですので、名古屋医療センターの先生方、スタッフの方々には今後ともよろしくご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



さぶり整形外科

院 長：岩田 淳

所 在 地：〒451-0031 名古屋市西区域西2-19-18

電 話：052-521-0550

F A X：052-531-1700

診療科目：整形外科、リウマチ科、リハビリテーション科、外科

診療時間：9:00～13:00、17:00～19:00

休 診 日：水曜、土曜午後、日曜、祝日

U R L：https://saburi-seikei.com

外来診療担当表

令和8年1月1日現在

診療科		月	火	水	木	金	
内 科 (2階)	受付A	1診	近藤高	村山	島田	浦田	交代制(再診)
		2診	交代制(再診)	久野	近藤尚	交代制(初診)	宇仁田
		3診	交代制(初診)	交代制(初診)	交代制(初診)	柴田(1・3・5週) 田中(2・4週)	交代制(初診)
		4診	—	—	馬場	—	今枝
		5診	渡辺	沖	篠原(午前) 鳥居厚 (第2・4週 午後)	石井 (初診)	沖
	受付B	6診	鳥居厚	小暮啓 (1・3・5週 初診) 渡辺 (2・4週 初診)	小暮啓	北川	小暮啓
		7診	沖 (1・3・5週 初診) 今枝 (2・4週 初診)	大濱(午前) 篠原(午後)	若原(初診)	佐野	大濱 (1・3・5週 初診) 鳥居厚 (2・4週 初診)
		8診	—	—	—	—	—
		8診	—	—	ペースメーカー(2・4週)	—	ペースメーカー(1・3週)
		9診	近藤隆	交代制	交代制	近藤隆	交代制
受付C	10診	今井	上村	山下	近藤正	宮原	
	11診	交代制	早川	山田高	山田高	交代制	
	12診	—	—	—	フットケア(2週 午後)	—	
	13診	交代制(初診)	交代制(初診)	交代制(初診)	交代制(初診)	交代制(初診)	
	14診	丹羽真(1・3・5週)	交代制	田實	田實	杉浦	
受付D	15診	杉浦	山田努	山家	山田努	山家	
	12診	杉山	—	—	—	梅村(再診)	
	17診	高野 (初診)	高野 (予約のみ)	梅村(午前) 平野(午後)	鈴木	鈴木(午前) 小嶋(午後)	
	18診	小嶋 (午前・午後)	鈴木 (午前 初診)	高野	小嶋 (午前 初診)	長谷川	
	19診	—	—	水谷	—	水谷 (午前 初診/午後 再診)	
腎臓内科	12診	—	—	齊藤	—	—	
	18診	—	—	—	—	—	
	19診	山森	高見	—	井口	—	
脳神経内科	20診	二上	両角	小谷	原田	榊原	
	21診	小林 (脳波/てんかんセンター)	—	小林 (脳波/てんかんセンター)	菅原(もの忘れ外来) (連携予約のみ)	—	
	22診	両角(初診)	榊原(初診)	二上(初診)	小谷(初診)	原田(初診)	
	24診	交代制	—	交代制	岡田	交代制	

血液内科 (3階)	1診	永井	足立	永井	飯田	足立
	2診	飯田	鈴木康	今橋伸	鈴木康	今橋伸
	3診	谷	安田	小暮あ	平野大	小暮あ
	LTFU	飯田(1週)	飯田(2週)	—	飯田(3週)	—

腫瘍内科(2階) (化学療法室)	1診	白石(再診)	加藤(再診)	北川(再診)	大脇(再診)	伊藤(再診)
	2診	—	杉山(再診)	猪野(再診)	矢口(再診)	佐藤真(再診)
	初診	大脇・杉山	佐藤・北川	白石・大脇	杉山・白石	加藤・北川

禁煙外来(2階)	特別診察	—	当番制 (午後・予約のみ)	—	—	当番制 (午後・予約のみ)
----------	------	---	------------------	---	---	------------------

緩和ケア内科 (2階)	特別診察	稲田②/ 西堀①	船橋①	船橋① 近藤建 (外科外来)	稲田②/ 西堀①	西堀①
----------------	------	-------------	-----	----------------------	-------------	-----

内視鏡室 (2階)	消化器	島田/村山/ 近藤尚/浦田/ 宇仁田/ 久野/柴田	島田/近藤尚/ 浦田/宇仁田/ 近藤高/ 久野/柴田	村山/浦田/ 宇仁田/近藤高/ 日比野/ 久野/柴田	島田/村山/ 近藤尚/宇仁田/ 近藤高/久野	島田/浦田/ 近藤高/近藤高/ 久野/柴田
	呼吸器	BF(当番制)	—	—	TBLB(当番制)	—

精神科(2階)	再診2診	—	—	末宗	—	末宗
---------	------	---	---	----	---	----

※精神科では当面の間、初診患者の受入れを停止しております。

脳神経外科 (2階)	1診	倉光	高橋	前澤	須崎	伊藤芳
	2診	板垣	松野	江口	交代制	伊藤真
	3診	安藤遼	—	片岡	—	江口(1・3・5週) 安藤遼(2・4週)

外 (1階)	1診	宇野 (一般・消化器)	服部正 (消化器)	田嶋 (一般・消化器)	末永 (肝胆脾)	多代 (一般・肝胆脾)
	2診	村上 (心臓血管 午前) 亀井 (形成2・4週 午後)	梅村 (一般・消化器)	澤木 (乳腺)	林孝 (乳腺)	林孝 (乳腺)
	3診	羽田 (一般・消化器)	中山智 (心臓血管)	富永 (一般・消化器)	田中 (一般・消化器)	袴田 (一般・消化器)
	4診	加藤彩 (乳腺)	児玉 (末梢血管 1・3・5週 午後)	関 (呼吸器)	萩原 (心臓血管)	竹内崇 (心臓血管)
	5診	安田 (呼吸器 午前) 森田 (乳腺 午後再診)	—	近藤建・竹田 (一般・消化器)	森田 (乳腺)	加藤彩 (乳腺)
特別診察室	—	—	—	—	—	

※ストマ外来…火曜1・2・3・4週 ※末梢血管外科は完全予約制(13:30~15:30)となり、リンパ浮腫専門外です。 ※形成外科(13:30~15:30)

◎外来受付時間 ○初診/午前8時30分~午前11時 ○再診/午前8時20分~午前11時

◎休診日 土曜、日曜、祝日、年末年始(12/29~1/3)

◎担当は都合により予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

診療科		月	火	水	木	金
整形外科 (1階)	1診	家崎	下村	杉山	武藤	長嶺
	2診	長嶺	杉山(午前)	家崎(午前)	—	下村(午前)
	3診	佐藤智 (人工関節)	浅井 (リウマチ)	佐藤智 (リウマチ)	生田 (人工関節)	生田 (リウマチ)
	4診	武藤	中島 (リウマチ 午前) 小嶋 (リウマチ 午後)	小嶋 (リウマチ)	浅井 (人工関節)	小嶋 (リウマチ)

皮膚科 (3階)	1診	藤城	後藤	藤城	藤城	守田
	2診	竹原	池谷	竹原	大野	池谷
	3診	成田	守田	植田	成田	後藤
	4診	—	—	—	植田	—

小児 科 (3階)	午前	1診	後藤雅 (循環器)	後藤雅 (循環器)	後藤雅 (循環器)	後藤雅 (循環器)	後藤雅 (循環器)
		2診	堀部 (血液・腫瘍)	堀部 (血液・腫瘍)	服部 (血液・腫瘍)	市川 (血液・腫瘍)	関水 (血液・腫瘍)
		3診	前田 (長期フォロー)	前田 (長期フォロー)	—	—	—
		4診	二村 (一般 初診)	島田 (一般 初診)	島田 (一般 初診)	梅原 (一般 初診)	田中 (一般 初診)
	午後	1診	木村 (内分泌)月1回 後藤雅 (予防接種)	後藤雅 (予防接種)	—	後藤雅 (予防接種)	金子 (小児外科)月1回 後藤雅 (予防接種)
		2診	堀部 (長期フォロー) 高橋 (カウンスリング)	竹中 (神経)	田中 (アレルギー)	二村 (アレルギー)	梅原/後藤雅 (乳児健診)
		3診	前田 (長期フォロー)	—	—	前田 (長期フォロー)	高橋 (カウンスリング)
		4診	交代制(一般)	交代制(一般)	交代制(一般)	交代制(一般)	交代制(一般)

遺伝 診療科 (2階)	特別診察	—	—	服部浩・ 田口・河合	—	服部浩・ 田口・河合
	遠伝(3階) カウンセリング	看護外来	服部浩・ 田口・河合	—	服部浩・ 田口・河合	—

※遺伝診療科及び遠伝カウンセリングは完全予約制です。 ※カウンセリング予約枠:月曜1枠(13:00-14:00)、木曜2枠(13:00-14:00、15:00-16:00)

耳鼻いんこう科 頭頸部外科 (3階)	1診(初診)	加藤健・大西	寺西・大西	竹内・神本	中田	加藤健
	2診	森永・神本	森永	中田(1・3・5週) 加藤健(2・4週)	加藤健	中田
	3診	寺西	竹内・神本	森永	竹内・大西	大西・寺西 (1・3・5週) 森永・大西 (2・4週)
	めまい・耳鳴り・難聴	—	中田(めまい) 加藤健(耳鳴・難聴)	—	横井 (再診13:30-15:30)	—

眼 科 (3階)	1診(初診)	南沢 (1・3・5週) 近澤(2・4週)	河合 (1・3・5週) 近澤(2・4週)	中村 (1・3・5週) 河合(2・4週)	岡戸 (1・3・5週) 平野(2・4週)	—
	2診	河合	平野	岡戸	中村	手術日
	3診	—	—	—	—	
	4診	—	廣瀬	南沢	廣瀬	
	5診	服部友(1・3・5週) 鳥居良(午後)	服部友	鳥居良	近澤	
	6診	吉田統	—	久保田	久保田	

産婦人科 (3階)	1診	中西	吉田沙	熊澤	熊澤	中西
	2診	稲葉	交代制	稲葉	交代制	吉田沙

※木曜の診察は、手術がある場合は1診対応となり、どちらかの医師の診察となります。

泌尿器科 (3階)	初診	川西	交代制	平林	交代制	吉野
	再診	吉野	印牧(1・3・5週) 川出(2・4週)	川西	伊藤	吉澤 (初診・再診)
	再診	岩本	—	岡村	—	平林

専門外来 (3階)	1診	笠原	小暮あ (12:00まで)	今橋眞 (14:00まで)	横幕 松下(3週午後のみ) 渡辺(2週午後のみ)	横幕 渡辺(2週午後のみ)
	2診	—	—	—	今(4週午前のみ)	—
	3診	小暮あ(14:00まで)	担当医	担当医(12:00まで)	小暮あ(12:00まで)	今橋眞

歯科口腔外科 (3階)	初診	上嶋	後藤	白井/小田	交代制	成田
	再診	後藤	小田	後藤	交代制	小田
	再診	小田	上嶋	上嶋	—	後藤
	再診	成田	宇佐美	—	—	上嶋
	再診	白井	成田	—	—	白井

放射線治療科 (地下1階)	初診・再診	宮川・加藤恵	宮川・加藤恵	宮川・加藤恵	宮川・加藤恵	宮川・加藤恵	
	診断	午前	宇佐見・ 安藤嘉	宇佐見・ 安藤嘉	大岩・ 宇佐見	大岩・宇佐見・ 安藤嘉	大岩・ 安藤嘉
		午後	宇佐見・安藤嘉 大岩(午後3時~)	大岩・宇佐見・ 安藤嘉	大岩・宇佐見・ 安藤嘉	大岩・宇佐見・ 安藤嘉	大岩・宇佐見・ 安藤嘉
	放射線 (1階)	X線TV5	午前	—	—	—	—
		X線TV6	午後	—	耳鼻いんこう科(嚥下)	—	耳鼻いんこう科(嚥下)
	RI/PET	午後	宇佐見	安藤嘉	宇佐見	大岩	大岩
	超音波	午後	大岩・ 森田(午前)	森田	大岩(生検) 森田	遠藤・須田 (乳腺)	—
検診	午後	大岩・須田	大岩・須田	大岩・須田	大岩・須田	大岩・須田	